



吉野 さくら日和 (校長室より)

令和7年3月24日発行

吉野さくら学園

校長 山田 真路

No. 27

令和6年度が終わりました。3月24日。保護者の皆さま、地域の皆さま、関係機関の皆さまのご支援とご協力により今日の日を迎えることができました。本校の教育活動に格別のご配慮とご理解を賜り、本当にありがとうございました。本校職員を代表して厚く御礼申し上げます。

確かな学力・豊かな人間性・たくましい心身を身につけ、自信と誇りをもって未来に向かって力強く生き抜く子どもを育てる。

これは、学校教育目標です。達成するために、学校内において実施する教育課程のなかにとどまらず、学校・家庭・地域が連携して学びをつなげて参りました。今年度もこれまでと同様、保護者や各種ボランティアの方々、地域の方々、警察、消防、町役場をはじめとする関係機関の皆様から、本校に対するあたたかいご理解とお力添えをいただきました。

2月27日に開催された「吉野町学校園運営協議会」において、委員の皆さま方からたくさんの励ましの言葉をいただきました。教職員が率先垂範して子どもの教育に携わり、子どもにつけたい力をつけていくことを今後も大切にしていきます。加えて、地域と学校がともに吉野の子どもを育てていきたいと思います。力強いメッセージをくださったことに、大いに励まされました。

保護者や地域のボランティアの皆さまも一緒になって吉野さくら学園を盛り立てていただいております。本年度の活動をしっかりと受け継ぎ、来年度、よりよい吉野さくら学園をつくりあげるため、教職員一同で取組をすすめていきたいと思っております。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

令和6年度、本当にありがとうございました。

中学校卒業式（3月14日）

凜とした佇まいで卒業式に臨む卒業生。その姿は、義務挙育課程を終了するという人生の大きな節目に立ち、これから大人へ向かおうとする若い力にあふれていました。ここ吉野の地で、たくさんの方々に大きく育てられたのだなと感じずにはいられませんでした。

式場へ入場するとき、卒業証書を受けるとき、式歌のとき、そして、退場するとき、卒業生の視線はしっかりと前を向き、その先に待っている無限の可能性のある未来をしっかりと見つめていました。見つめている未来に向かう皆さんを、応援せずにはいられません。

小学校卒業式（3月19日）

6年前は、大きなすにちょこんと腰掛けていた皆さんが、今や心も身体も大きく成長した姿で堂々と座っています。式場への入退場、卒業証書を受けるとき、よびかけのとき等の所作を一つ一つていねいにする姿は、干支が一回りして小学校6年間の課程を卒業する節目をきっちりとやりきろうとする気概に満ちあふれていました。

中学校での生活への期待とあこがれ。卒業式をやりきることを通して、さらに大きく膨らんだことでしょう。心も身体も大きく成長する中学校時代。充実した日々であるようにと願います。

中学校卒業生・小学校卒業生がそれぞれ残してくれたもの

中学校卒業生と小学校卒業生は、ボランティア清掃で校舎内を美しくしてくれました。普段はなかなか掃除が行き届かないところを中心に、よごれをとってくれました。美しくすることに加えて整然とした状況を創りあげてくれ、在校生の皆さんが心を安定させて学校の学習活動に集中できる学校環境を整えてくれました。ありがとうございました。

「在校生の皆さんで、いい学校づくりをしてくださいよ。」

卒業生は、このメッセージを伝えようと一拭き一拭き力を込めてくれていたことでしょう。卒業生の気持ちを受け継ぎ、つなげていきたいと思います。いい学校づくりのために。

【在校生の皆さんへ】

いい送る会、いい卒業式を創りあげてくれ、ありがとう。卒業生を思う気持ち、うれしかったです。

卒業生のためにと学年ごとに気持ちを一つにして、卒業式の準備、飾り付けをしてくれました。拭き掃除に掃き掃除。物の移動に整理整頓。そして、卒業式当日のあたたかい拍手とあたたかいまなざし。本当にありがとう。

今年度一年間、よくがんばりました。たくさん感動をいただきました。ありがとう。4月からは、皆さんの学年が一つ上がります。かわいらしい小学校1年生が入学してきます。いい吉野さくら学園にするため、たくさん力を出してくれることを期待し、楽しみにしています。よろしく願いいたします。